

2/20(火)
午後 5:00 頃

ここが
重要!

年一回、市会交渉会派のみが出来る質問です



予算代表質問

ふるや

古谷

やすひこ

議員

(鶴見区)

日本共産党
横浜市議団団長



ぜひ傍聴に
お越しください

主な質問内容（予定）

●能登半島地震を受け、市の防災施策の総点検と抜本的な拡充を

新年度予算案に組み込まれた「災害対策パッケージ」では、来年度一年かけて災害対策を見直すと表明している。ぜひ強力に進めていただきたい。特に避難所は、女性と障害者の視点を入れた改善が急務。総点検と防災施策のバージョンアップに向けて、市民がもっと参画できるような取り組みにするべき。

●山中市長の社会保障への考えや、施策の進め方について

高齢者がおかれている状況は、年金は下がり続ける中、国保・介護料などが上がり続け、生活が圧迫され続けている。山中市長は「健康寿命で長生きして良かった！と言える街」を目指しており、高齢者が置かれている状況をどう見ているのか。そして「健康寿命」に向けた医療、介護福祉、移動等の施策をどう拡充するのか見解を伺う。

●山中市長にあらためて、市長の公約実現に向けての決意を伺う

来夏には市長選挙が予定されている。4年任期のゴールが見えつつある中、市長が市民に約束した公約は「3つのゼロ」だけでなく多岐にわたる。公約実現に向けあらためて市長の決意を伺う。

●横浜港の脱炭素化の推進を。

●横浜発の次世代太陽光電池をいち早く普及させるための取り組み強化を

完全な「ゼロカーボン」を実現するには、横浜港のど真ん中にある米軍基地ノース・ドックにもゼロカーボン施策を強力に求める必要がある。

また、次世代型太陽電池活用としてペロブスカイトの実証や気運醸成を行っているが、一刻も早く実装段階に進めて体制づくりや普及啓発をする必要がある。市長の見解と決意を伺う。

●横浜ノース・ドックの早期全面返還に向けて1歩も2歩も踏み込んだ取り組み強化を

2月8日に新部隊編成のための式典がノース・ドックで開催されたが、会場入口では基地機能強化に反対する市民たちが反対の声を上げた。市と市会と市民の総意である、早期全面返還に向けての気運醸成をどう進めていくか。そして、市民と一緒にこの課題に取り組むべきである。



予算代表質問とは、市長から提出された新年度予算や関連する議案に対して、各会派の代表者が質問を行うことです。代表質問は、会派を代表して、市政の運営方針や主要課題、政策レベルでの問題点、将来に対する方針などについて所信を質すものです。また、交渉会派（5人以上の所属議員を有する会派）であることが必要です。

